



学校だより

伸びゆく子

平成29年6月30日
横浜市立中沢小学校
7 月 号

保護者や地域の皆様に支えられ、愛される中沢小学校

副校長 笹原 洋子

新年度が始まってから3か月が過ぎました。街を彩る花は桜、つつじ、バラ、紫陽花と
移り変わり、学校ではプールから子どもたちの歓声が聞こえる季節が巡ってきました。

6月は運動会の余韻を残しつつも、子どもたちは落ち着いた学校生活を送りました。そ
の学習を多くの保護者の皆様に支えていただいています。2、3
年生の町たんけんや5、6年生の家庭科の裁縫の授業です。その
おかげで、子どもたちは安全に活動することができ、同時にたくさ
んの「できた!」を体験しています。



家庭科のラティエ

また、6月には「まちとともに歩む学校づくり懇話会」など、地域の皆様とお話をする
機会を何度もつことができました。その一つに、「中沢小学校サポート基金運営委員会」
という会がありました。「中沢小学校サポート基金」というのは、平成27年3月から始ま
った、本校保護者や地域住民等が特色ある中沢小学校づくり推進を支援するための事業
です。この事業の今年度の運営について話し合っている中で、地域の皆さんが「中沢小の
力になりたい。」「中沢小が大好きなんです。」と口々に発言してくださいました。改め
て、感謝するとともに、よりよい中沢小学校にしたいと校長やPTAの方と話しました。

このように保護者や地域の皆様に支えられている中沢小は、地域の活動の場としても
利用されています。6月3日には地域防災拠点として、災害が発生した時を想定し、備蓄庫
の中身を確認したり、使ったりしました。10日には福祉まつりの会場となり、就学前の
お子さんから高齢の方々まで、幅広い年代の人々の社交場となっていました。



防災拠点訓練



福祉まつり



そして、7月29、30日には、夏祭りの会場になります。今年は4年生がソーラン、
5年生がエイサーを披露する予定です。また、盆踊りも行われるそうです。小学生はも
ちろん、保護者の皆さんも地域の方々と一緒に踊りませんか。地域、家庭、学校のみんな
で大きな『中沢の輪』を作れることを、今からとっても楽しみにしています。